

りはっぴねす

ワンポイント  アドバイス！

肝がんから守るために…

肝がんの原因の多くは B 型・C 型の肝炎ウイルスです。感染者は全国で 300～370 万人。うち 7 割の人が感染に気づいていないと考えられています。これらのウイルスは肝臓に炎症を起こし、その状態が長く続く（慢性肝炎）と肝硬変や肝がんになってしまいます。最近のウイルス性肝炎の治療は進歩しており、医療機関で適切な治療を受けることで深刻な症状に進行するのを防ぐことができます。まずは、

肝炎検査(血液検査)を受けましょう！



広島県は肝がんの死亡率が高く、全国でも3位とトップクラスです。肝臓は「沈黙の臓器」と称されるように自覚症状がありません。肝がんを予防するためにはどうしたらよいか、ご紹介します。



肝機能検査で異常を指摘された方、身内に肝炎ウイルスに感染している方や肝がんの患者さんがいる方、母子感染予防策が実施されていなかった昭和60年以前に生まれた方は一度肝炎検査を受けられることをお勧めします。



【健康診断・人間ドック：健康開発センター ウィル】
TEL 082-924-1116(直通) 月～金 9時～17時